

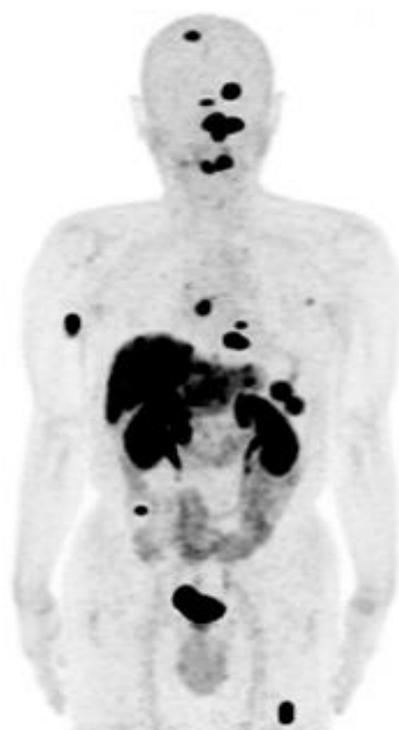
## 当施設では $^{68}\text{Ga}$ -DOTATOC PET/CT 検査を提供しています

神経内分泌腫瘍に対する画像診断として、ソマトスタチン受容体イメージングが重要な役割を担っています。日本では  $^{111}\text{In}$  標識の SPECT 製剤(インジウムペンテトレオチド、商品名オクトロスキャン)が承認され、保険診療として行われています。一方、欧米をはじめとする諸外国では、PET 製剤を投与し PET/CT 装置で画像化する検査が主流となりつつあります。日本ではまだ保険診療となっていませんが、当院では PET 製剤の一つ  $^{68}\text{Ga}$ -DOTATOC を用いた  $^{68}\text{Ga}$ -DOTATOC PET/CT 検査 を自費診療にて提供しています。

### 同時期、同一患者に対する両検査の画像例



$^{111}\text{In}$ -ペンテトレオチド  
(SPECT 製剤)



$^{68}\text{Ga}$ -DOTATOC  
(PET 製剤)

上図の黒いところが病変を示します(一部生理的な臓器を除く)。このように同時期に撮像しても左の SPECT 製剤より右の PET 製剤で明瞭に描出されることが珍しくありません。また  $^{111}\text{In}$ -ペンテトレオチドを用いた検査では、検査薬を投与して当日に 4 時間後と翌日に 24 時間後の 2 回撮像を行うのが通常ですが、当院での  $^{68}\text{Ga}$ -DOTATOC PET/CT 検査では、投与して約 1 時間後に約 20 分撮像して終了となります。

●<sup>68</sup>Ga-DOTATOC PET/CT 検査の適応例

- ・神経内分泌腫瘍
- ・褐色細胞腫・傍神経節細胞腫
- ・腫瘍性骨軟化症
- ・その他ソマトスタチン受容体の発現を調べたい場合

すべての患者さんに必須というわけではありませんが、他の画像診断法で結論が出ない場合等で治療方針に役立つことがあります。主治医の先生にご相談ください。

●<sup>68</sup>Ga-DOTATOC PET/CT 検査を受けるにあたり

① まず主治医の先生から、当院の地域連携室を通じて、下記医師の外来にご紹介ください。

- |               |           |
|---------------|-----------|
| ・消化器内科        | 宇座徳光、福田晃久 |
| ・糖尿病・内分泌・栄養内科 | 山内一郎      |
| ・肝胆膵移植外科      | 増井俊彦      |
| ・脳神経外科        | 荒川芳輝      |
| ・呼吸器外科        | 山田義人      |

そのうえで経過や病状などを踏まえて検査の適応を検討します。

地域連携室： 電話 075-751-4320 (9:00-19:30)

FAX 075-751-3115 (24時間受信)

土・日・祝祭日、年末年始(12/29~1/3)、創立記念日(6/18)を除く

② 検査の適応があると考えられた場合はスケジュールを調整します。検査料は自費となり、**130,020円\***です。検査当日には保険診療を受けていただけないことにご留意ください。

\* 材料費等の高騰に伴い、2023年4月1日より検査料を改定させていただきました。